

図書館インフォメーション



乳幼児おはなし会 再開いたしました。
『リミック教室』『のんたんのへや』
ぜひ、ご参加ください。

子どもと触れ合える手あそび歌やふれあい遊び、
絵本の読み聞かせ等を行っております。



【南部館展示コーナー】

《梅 特集コーナー》

・これからの季節、梅酒や梅シロップ、梅干しを作ってみませんか？

《お酢 特集コーナー》

・ジメジメと暑い季節になってきました。夏バテ防止に『お酢』はいかがでしょう？



7月の図書館の予定

- ・乳幼児リミック教室
7月6日（水）
午前10時30分～11時30分
- ・乳幼児おはなし会 のんたんのへや
7月13・20・27日（水）
午前10時45分～11時30分



※各種催し物は、新型コロナウイルス感染予防のため中止になる場合があります。なお、中止の場合はFM告知放送でお知らせします。

町立図書館では、年代別のおすすめ本の紹介などの情報を図書館だよりで配信しています。図書館だよりのバックナンバーは右のQRコードを読み取るとご覧いただけます。



美術館（企画展の紹介）

尾山幹雄 絵画展 ～歩み続ける日々～

6月18日（土）～ 7月18日（月・祝日）
受付：9:00～16:30
入場料：無料

詳しくは全戸配布のチラシをご覧ください。
多くの方の来館をお待ちしています！

12月には「浩一路没後60年展」を開催予定。

- ◆午前9時半～午後5時まで（入場は午後4時半まで）
- ◆休館日は月曜館 祝日の翌日 館内整理日
- ◆観覧料：300円

今月の新刊情報

生命の罅

川端康成と「特攻」

多胡吉郎著 現代書館
1945年4月、海軍報道班員として、鹿児島県鹿屋の特攻基地に降り立った川端康成。「美しい日本の私」を語った大作家の、心の内側に抱えた真実を探る。



百年厨房

村崎なぎこ著 小学館
宇都宮の旧家に独り住む大輔。ある日アヤという若い女が現れ、大正時代にここで働いていたという。友人は「タイムスリップだ!」と騒ぐが、大輔は信じない。だが、アヤが作った冷やしコーヒーは・・・奇跡の感涙ファンタジー。

ロシア点描 まちかどから見るプーチン帝国の素顔

小泉悠著 PHP研究所
ロシア人とはいかなる人々で、ロシアではどんな生活が営まれているのか。なぜ西側の世界と相容れないのか。住まい、街並み、地下空間、食生活、国際関係などをテーマに具体的に解説する。プーチン権力の行方も論じる。



マスカレード・ゲーム

東野圭吾著 集英社
解決の糸口すらつかめない3つの殺人事件。共通点は、被害者がみな過去に人を死なせた者であることだった。被害者たちを憎む遺族らがホテル・コルテシア東京に宿泊することが判明し、新田浩介は再び潜入捜査を開始する。

数値化の鬼

「仕事ができる人」に共通する、たった1つの思考法

安藤広大著 ダイヤモンド社
仕事ができる人は、数字の大切さを知っている。「結果を出したいプレイヤー」に向けて、仕事の型になる「数値化」のノウハウを解説。知的で冷静に考えるための方法を体系化する。



今日を楽しく生きる

「寂庵だより」2007-1998年より
瀬戸内寂聴著 祥伝社
明日は何が起こるかわからないのだから、そこに美しいもの、愉快なものが待ち受けていると思う方が、今夜の眠りは安らかである。瀬戸内寂聴が編集長を務めた「寂庵だより」の随想をまとめた第二弾。

おすすめ本

「雨の日に読みたい本」

雨の日は外に出るのは億劫ですが、普段とは違う落ち着いた雰囲気の中で本を読むことができます。作中で登場する雨は、登場人物の心情の表現を手伝ったり、読後、深く記憶に残り続けたりします。そんな「雨」が印象に残るおすすめ小説をご紹介します。



「龍神の雨」
道尾秀介著
新潮社



「言の葉の庭」
新海誠著
KADOKAWA



「死神の精度」
伊坂幸太郎著
文藝春秋



「君の臍臓を食べたい」
住野よる著
双葉社



「いま、会いにゆきます」
市川拓司著
小学館